

08年11月9日市警ニュース

JSS和訳

## 歩行者安全キャンペーン、「見せよう」運動

11月10日、市内の道路で、他の道路使用者に配慮しない道路使用者、特に歩行者に焦点を当てた、一週間にわたる交通安全運動が開始される。

統計によると、トロント市内における歩行者の死亡事故は、年間交通死亡事故のほぼ半数を占める。本年はこれまでに、あわせて25人の歩行者が、交通関連事故で命を失っている。道路使用者のうち高齢者がもっとも被害を受けやすい。今年これまででは、交通事故で死亡した25人の歩行者のうち13人が高齢者である。

市内の警官及び駐車取締官は、歩道橋、横断歩道、ないしは中央分離帯、交差点付近で違反を犯す自動車及び自転車利用者、歩行者に注意を払う。

交通部のLen Faul捜査官は、「だれでも、時には歩行者だ。歩行中は周囲に十分な注意を払い、道路利用規則を守り、周囲から自分が見えるように、そして十分注意して(道路を使用しよう。)」と語っている。

更に詳しい情報は、交通部広報事務所(電話416-808-1920)までどうぞ。